

平成29年度 第2回 高山市総合教育会議 議事録

【日 時】 平成29年12月21日（木） 14時～15時30分

【場 所】 高山市役所 2階 201・202会議室

【出席者】 (構成員) 高山市長 國島 芳明  
教育長 中野谷 康司  
教育長職務代理者 針山 順一郎  
教育委員 打江 記代  
教育委員 野崎 加世子  
教育委員 長瀬 信  
教育委員 白田 美樹

(構成員以外の出席者)

企画部長、市民活動部長、市民保健部長、商工観光部長、企画部参事、教育総務課長、学校教育課長、文化財課長、子育て支援課長、学校給食センター所長、企画課係長、教育総務課係長、企画課職員

【会議内容 (次第)】

- ・市長あいさつ
- ・教育長あいさつ
- ・議題
  - (1) 高山市立小中学校の学期の見直しについて
    - ・資料① 高山市立小中学校の学期の見直しについて
  - (2) 児童生徒等の重大事態に備えた対応について
    - ・資料② 児童生徒等の重大事態に備えた対応について
    - ・非公開 高山市児童生徒等の重大事態調査委員会 (仮称) 委員 (案)
  - (3) 教育大綱の推進に向けた今後の取り組みについて
    - ・資料③ 教育大綱の推進に向けた取り組みの検討状況
- ・高山市教育大綱に関する実践紹介—高山市立朝日中学校の平和教育—
- ・閉会

【議事要旨】

市 長 議題(1) 高山市立小中学校の学期の見直しについて、事務局より説明をお願いします。

学校教育課長 (資料①について説明)

市 長 この件につきましては、以前より保護者の方々の意見などの報告があったところですが、今回は議会で課題となっていたことについて、改めて議会へ説明し、一定の理解をいただいたということで報告がありました。今後は、教育委員会において決定し、準備に入っていただくことになると思いますが、このことについて特にご意見があればお伺いしたいと思います。

教育委員 (特になし)

市 長 それでは、今後、教育委員会において実施に向け進めていただくということで、本件については報告としてご理解をいただければと思います。  
続きまして、議題(2) 児童生徒等の重大事態に備えた対応についてです。この件については前回の会議でもご協議いただきましたが、改めて説明をお願いします。

企画部参事 (資料②について説明)

市 長 この件についても前回の会議でご議論をいただいた内容について、改めて議会に説明し、主に3つの意見をいただいたとの報告があったものですが、このことについて何かご意見がありましたら伺いたいと思います。

教育委員 (特になし)

市 長 趣旨等については、前回の会議でもご理解をいただいております。議会からこのようなご意見をいただきましたので、今後の運営においてはこれらのことにも留意し、議会へも報告をしながら進めていく必要があると思います。  
それでは、議会での意見もふまえて、調査委員会を設置することについてご承認いただけますでしょうか。

教育委員 異議なし。

市 長 承認をいただきました。  
次に、調査委員の人選についてですが、ただいまから会議を非公開に切り替え、ご協議をいただきたいと思いますがよろしいですか。

教育委員 よし。

市 長 それでは、非公開にします。事務局から説明をお願いします。

===== 非公開部分省略 =====

市 長 それでは、議題(3) 教育大綱の推進に向けた今後の取り組みについて、事務局より説明をお願いします。

企画部参事 (資料③について説明)

市 長 もう少しお聞きになりたいことなどありましたらお願いします。

針山委員 2の協働のまちづくり人材育成に対する支援とはどのようなことですか。

市民活動部長 平成30年度から新たに取組めないか検討をしているところですが、協働のまちづくりの取組みが3年目、4年目に入らる中で、持続可能なまちづくり協議会の運営にあたっては人材育成が大変重要になっていますので、各まちづくり協議会に対し必要

とする講師を派遣することを考えています。

針山委員 講師に対する予算を別枠で応援するということですか。

市民活動部長 はい。市が予算措置をして、まちづくり協議会から要請があった場合に講師を派遣することを考えています。

針山委員 1のモデル的事業への支援について、子ども食堂や子どもの居場所づくりなど、積極的に取り組んでいるまちづくり協議会もありますが、今までやってきたことをそのままやっていけばいいといった風潮のところもあるかと思います。例えば、不登校の子の居場所がないということに対して、まちづくり協議会がモデル的な取り組みをしていただくことで、プラスアルファの補助を出そうという主旨ですか。そのような呼びかけを我々もさせていただいてよろしいのでしょうか。

市民活動部長 はい。地域課題の解決につながるような新たな取り組みに対して、通常の支援金に上乗せして応援しようと考えているものです。

針山委員 全部のまちづくり協議会ではなく、やる気のあるまちづくり協議会に対して手を差し伸べていただきありがとうございます。教育委員会も協力して取り組んでいけたらと考えます。

長瀬委員 予算編成から見る高山市の教育の特色というか、教育大綱ができたことにより教育予算が手厚くなったということを、この機会に市民の方々に見えるようにすることも大事と考えます。教育大綱については様々に市民に周知してきたところで、市民の方々も注目してみえると思います。これまでも高山市は教育に力を入れてきたと思いますが、教育大綱が出来たことにより更にアップしたということが大事だと思います。特にICT教育については、電子黒板が整備されていないのは高山市だけという現状もありますので、ぜひ実現するように各部応援いただきたいと思います。

市長 教育委員会事務局として何かコメントはありますか。

学校教育課長 本件については、高山市の子どもたちの情報教育の推進ということで大変重く捉えています。市としての方針を定めるため、現在、5ヶ年計画を策定する方向で検討しているところです。今後、それらの方針に基づいて計画的な整備を進めていきたいと考えています。

市長 ご意見はきちんと受け止めさせていただきました。他にいかがでしょうか。

白田委員 3の発達支援スタッフのスキルアップ研修についてです。発達障がいのお子さんが増えている現状があると思いますが、子ども発達支援センターのスタッフの人数は足りているのでしょうか。研修等とありますので、スタッフの人数を増やすといった内容も含まれるのでしょうか。

子育て支援課長 スキルアップ研修等については、市の関係職員に対する研修もありますし、臨床心理士や理学療法士など専門的な知識のある方に各保育園を回っていただいて、療育に携

わる保育士や子どもたちを支援していただくことを考えています。  
子ども発達支援センターのスタッフの人数については、今年の春から人数も増やして取り組んでいるところで、きめ細やかに対応できているという意見もいただいていますので、ある程度体制が整ったのではないかと考えています。仕組みや技量など総合的に整えながら、今まで届いてなかったところへも支援を届けていく取り組みをしていきたいと思います。

市長 支援センターのスタッフの人数を増やすというより、保育園の保育士が同じように対応できるようなスキルを身に付けていただくことも取り組みたいということですね。

野崎委員 15の若年層の健診受診率の向上に向けた取り組みについて、2市1村とともに取り組んでいかれるということですが、議会の一般質問でも、食塩の取り過ぎや糖尿病予備軍などのお話があったと思います。若い人の健康教育について、もう少し具体的にどのように取り組んでいかれるのか教えてください。

市民保健部長 中学校3年生の受診率が5割程度であったことから、学校と協力して更に引き上げていきたいと考えています。また、事後の指導についても、今年度も個別に訪問や電話で実施したところですが、今後も丁寧に続けていきたいと思っています。学校で事後指導を行うことについても検討していきたいと考えています。

企画部参事 関連して、高校生はさらに受診率が低いため、高山市以外の子どもも通う高校への受診勧奨については、3市1村で連携して取り組みができないか検討しているところです。

打江委員 5の夜間保育の実施について、企業側の要望が大きかったのではないかと思います。保育士の確保はできそうですか。

子育て支援課長  
この事業は社会福祉協議会に委託して実施しようと準備しているところです。社会福祉協議会で保育士を募集されてみえますが、なかなか集まらないといった話も聞いています。先般、広報たかやまにも掲載したところで、実施までに必要な人数を確保できるよう努力していきたいと思っています。

打江委員 11の児童生徒等の重大事態や12の自殺対策推進計画についてですが、使われている言葉が露骨すぎるのではという印象を受けました。例えば、「命を守る」や「命を大切にする」というような表現が良いのではないのでしょうか。

市民保健部長 自殺対策推進計画については、法律に基づき策定が義務付けられてくるものですが、自分から命を絶つようなことがない社会をつくらうとするものですので、その思いや内容は委員がおっしゃられたとおりです。

打江委員 17の若者の地元定着促進について、若者が高山のことを知らないと感じることが多くあります。高山にどんな仕事や会社があるのか、もっと知ってもらい取り組みが必要ではないかと思っています。

商工観光部長 地元の子どもたちが地元を知ることは大変重要だと考えています。現在、市でバスを

借り上げて、高校生の企業見学の機会を作っているところですが、ものづくりをしてみえる地元の方々の事業所も対象にしたかどうかといったことも検討しています。出会いがあるような取り組みにしたいと考えています。

市長 新宮のまちづくり協議会では子どもたちの職業体験に取り組んでみえますし、斐太高校の生徒たちは、今の高校生が飛驒のことを知らなさすぎるので自分たちから発信したいということでHIDAKKOというフリーペーパーを作られています。そういう活動を支援していけたらと考えています。  
時間もまいりましたので、本日の議論はここまでとしたいと思います。以上で議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

企画部長 続きまして、次第4に移らせていただきます。教育大綱に関する実践紹介として朝日中学校の皆さんから平和教育の発表をしていただきます。それでは、朝日中学校の皆さん、よろしくお願いします。

(朝日中学校による発表)

企画部長 朝日中学校の皆さんありがとうございました。  
次回の総合教育会議につきましては、日程調整中ですので、決まり次第、ご連絡させていただきますのでよろしくお願いします。  
以上をもちまして、平成29年度第2回高山市総合教育会議を終了いたします。